

水稻生育情報 (No.1)

令和4年5月31日
茨城県県西農林事務所経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)

【気象と生育の概況】

本年5月(第1半旬から第5半旬まで)の気象は、日平均気温が平年より1.8℃低く、降水量は平年比139%と多く、日照時間は平年比98%と平年並みでした。

5月27日現在の水稻定点調査における管内の「コシヒカリ」生育状況は、草丈は平年並み～やや短く、茎数は平年より少ない～極少ない、葉色は平年よりやや淡い～淡い状況です。全体的に生育が遅れています。

表1 水稻定点調査結果(5月27日現在:コシヒカリ)

調査地点	田植日 (月日)	植付株数 (株/坪)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (葉色板)	SPAD値
筑西市	5月5日	61	28	157	3.8	34.2
一本松	(5月3日)	(51)	(29)	(206)	(4.4)	(37.6)
下妻市	4月30日	48	29	124	4.4	36.3
加養	(5月1日)	(47)	(32)	(214)	(4.9)	(41.0)
桜川市	5月4日	51	27	112	3.9	34.5
真壁町飯塚	(5月5日)	(52)	(29)	(141)	(4.2)	(36.9)

※()内は平成29～令和3年の5カ年平均値

【今後の栽培管理のポイント】

- ・中干し開始までは浅水管理で田面の温度を上げ、分けつの促進を図りましょう。
- ・分けつ盛期になると茎数は急激に増えるので、中干しの適期を逃さないようにしましょう(表2及び写真参照)。過剰な分けつは無効分けつや倒伏を助長します。
- ・中干しすることで田面を固め、収穫直前まで落水時期を遅らせても機械作業に必要な地耐力が確保できます。落水を遅らせることで乳白粒の発生抑制や千粒重の増大にもつながります。
- ・中干し期間中は葉色が低下しますが、追肥は控え、穂肥まで待ちましょう。

表2 中干しの時期と方法(コシヒカリ)

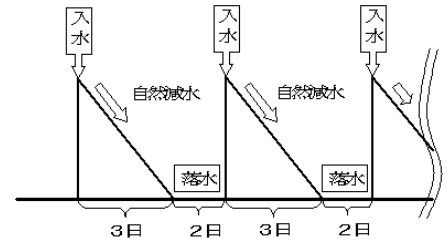
開始時期	茎数330本/m ² 程度となったとき(坪60株で18本/株、坪50株で22本/株)、田植35日後が目安
実施期間	葉色が濃い場合(葉色値で4.5以上)15~20日間 葉色が薄い場合(葉色値で4.5程度)10~12日
終了時期	葉色が4.0程度に落ちた時期 幼穂形成期(幼穂長1~2mm、出穂の25日前頃)までには終了
中干し程度	田面に亀裂が生じ、軽く足跡がつく程度 水持ちの良い水田では強め、水はけの良い水田では弱めに実施



写真: 中干し開始適期のコシヒカリ
茎数20本/株程度

【中干し後出穂前までの水管理について】

- 中干し後のイネの根は畑作物に似た形質を示し、常時湛水で管理していると根腐れを起こす危険が高まるため、根の活力保持のため間断かん水を行きましょう。
- 2～3日湛水し、自然落水後落水状態を1～2日程度保つサイクルを繰り返します。落水時には田面が多少乾いても問題ありません。



※間断かん水の一例